

マリナート舞台芸術公開講座 2026

講師



別所哲也(俳優)



永井聡子

(静岡文化芸術大学教授、  
マリナート演劇アドバイザー)

# 小泉八雲

## 『耳なし芳一のはなし』 ～劇場がつくる欠落の美～

短編朗読劇 演出・出演:別所哲也 上演台本:永井聡子

現代の劇場は、「照明」や「音響」によって舞台作品に  
さまざまな表情を与える最初の環境設定です。  
小泉八雲による怪談「耳なし芳一のはなし」を、  
本県出身の俳優 別所哲也さんによる朗読で上演。  
光と音による劇空間の広がり、劇場全体の闇がみせる「欠落の美」まで、  
機能と表現から生み出される  
「劇場とはなにか」について体感的にひも解きます。

2026  
**12/5** 土  
15:00～16:30  
(開場14:30)

静岡市清水文化会館マリナート  
小ホール(静岡市清水区島崎町214)

定員 **200人** (申込順)

参加申込 **10/3 土 10:00～**

マリナートへ直接、または電話で申込。

主催 静岡市清水文化会館マリナート 企画・プロデュース 永井 聡子

TEL **054-353-8885**

参加  
無料



『耳なし芳一のはなし』  
～劇場がつくる欠落の美～

## 小泉八雲(1850-1904)プロフィール

本名ラフカディオ・ハーン。ギリシア生まれ。父親はアイルランド出身のイギリス陸軍軍医。イギリスとフランスで教育を受け、1869年に渡米し、各地で新聞記者を務めた。1890年「ハーバー」誌特派員として来日。松江中学教師に転じ、小泉セツと結婚。熊本の五高に転任後、神戸に移り執筆に専心する。1895年日本に帰化し、小泉八雲と改名する。その後、東京帝国大学、早稲田大学の講師として英文学を教え、精力的に日本紹介の筆を取った。1904年没、五十四歳。「耳なし芳一」は亡くなる年に出版された短編集『怪談』の冒頭に収められている。

## プログラム

### プレトーク

劇場・演出の発展史と、小泉八雲のプロット、小泉八雲が「耳なし芳一のはなし」に忍ばせた美学を考察し、今回の朗読劇での「劇場の魅力」について語ります。なぜ手足ではなく「耳」だったのか、人間の不完全さが生むギリシャ悲劇的な宿命論と、現代の舞台芸術における表現手法。劇場全体の「闇」へ、感覚を覚醒させるプロローグです。

### 短編朗読劇

#### 『耳なし芳一のはなし』

小泉八雲(上田和夫訳)「耳なし芳一のはなし」  
(新潮文庫版『小泉八雲集』より)

上演台本 永井聡子／演出・出演 別所哲也

衣裳 木場絵理香

照明・音響 株式会社エスビーエスたくみ

舞台空間を支配するミニマルな光と影、そして「お経」のビジュアル。現代演劇のアプローチで表現される「引き算の恐怖」。「完璧なはずだった。その二箇所を除いて」

### アフタートーク

デジタル全盛の現代に、八雲の「欠落の美学」はどう響くのか。120年前にハーンが遺した文学的価値を掘り下げ、今回の演出意図や「劇場とは何か」についても考えます。



↑ 昨年度の講座の様子

## 講師プロフィール



©K.Kurigami

### 別所哲也

90年日米合作映画『クライシス2050』でハリウッドデビュー。米国俳優協会(SAG)会員。その後、映画・ドラマ・舞台・ラジオ等で幅広く活躍中。「レ・ミゼラブル」「ミス・サイゴン」「民王」などの舞台に出演。99年より、日本発の国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア」を主宰し、文化庁長官表彰受賞。観光庁「VISIT JAPAN 大使」、映画倫理委員会委員、外務省「ジャパン・ハウス」有識者諮問会議メンバー、島田市ふるさと大使、東京観光大使などに就任。内閣府・世界で活躍し『日本』を発信する日本人の一人に選出。第1回岩谷時子賞奨励賞受賞。第63回横浜文化賞受賞。



### 永井聡子

静岡文化芸術大学教授・博士(工学)。舞台芸術プロデューサーとして26年のキャリアを持つ。専門は劇場史、劇場運営、舞台芸術論。主な著書に『劇場の近代化——帝国劇場・築地小劇場・東京宝塚劇場』(思文閣出版、2014年)、A History of Japanese theatre, Edited by Jonah Salz, Cambridge University Press, 2016で米国図書館協会 Choice誌「Outstanding Academic Titles 2017」を受賞。自身の論考は英Routledge等の学術誌でも高く評価されている。近著に単著『新・舞台芸術史—劇場芸術の境界線から読み解く』(現代図書、2021年)がある。マリナートオープニング企画・W.シェイクスピア原作『ロミオとジュリエット』より「Juliet」(出演 別所哲也ほか)を企画プロデュースなど実践と研究の両面で活躍。日経新聞連載「劇場の顔 縦横十選」(2026年)。新しい劇場の整備・運営に関する公職を多数歴任。



054-353-8885

開館時間 9:00~22:00  
休館日 月曜(月曜祝日の場合は翌平日)

※マリナートには来場者専用の駐車場・駐輪場はございません。  
公共交通機関のご利用をお願いします。

www.marinart.jp マリナート 検索

## JR清水駅直結! 徒歩3分!

■JR清水駅 みなと口(東口) 下車 徒歩3分 ■静岡鉄道 新清水駅下車 徒歩10分  
※マリナート大・小ホールへの入口は2階です。清水駅自由通路から直接来場できます。